

## 第15回 関東地区高校放送コンクール（神奈川大会）開催要項（第13稿）

- 1 目的 関東地区（東京、埼玉、神奈川、千葉、群馬、山梨、栃木、茨城）の高等学校で、校内放送に係わっている生徒の資質の向上を図ると共に、生徒相互の交流を深め、今後の放送活動に生かす。
- 2 日時 平成30年1月28日(日)  
受付 9:00～9:30（全部門ともこの間に受付を済ませてください）  
開会式 10:00 コンクール開始 10:15  
閉会 16:00（予定）
- 3 会場 法政大学第二高等学校 木月ホール  
〒211-0031 神奈川県川崎市中原区木月大町 6-1  
電話 (044)711-4321（代表）  
<アクセス> JR・東急線 武蔵小杉駅 下車 徒歩 15分  
※ 自家用車・バスの駐車場はありません。乗入れもできません。
- 4 主催 関東地区高等学校文化連盟 関東地区高等学校文化連盟放送部会
- 5 共催 神奈川県高等学校文化連盟
- 6 主管 神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部
- 7 後援 神奈川県教育委員会
- 8 協賛 (未定)
- 9 実施部門 (a) アナウンス部門 (b) 朗読部門  
(c) オーディオピクチャー（AP）部門 (d) ビデオメッセージ（VM）部門
- 10 参加資格 平成30年1月1日現在、当該都県の高等学校文化連盟に所属している学校の1・2年生及びその作品で、当該都県の高等学校文化連盟から推薦を受けたもの。
- 11 参加数 (a) アナウンス部門 3名以内  
(b) 朗読部門 3名以内  
(c) オーディオピクチャー（AP）部門 1作品以内  
(d) ビデオメッセージ（VM）部門 1作品以内  
※アナウンス・朗読部門の両方に同じ生徒は参加できない
- 12 参加要項
  - (1) 発表・出品基準
    - (a) アナウンス部門
      - ア 郷土（自都県内に限る）の話題を関東地区の高校生に伝える内容の原稿を作り発表する。ただし、校内の域にとどまっている話題は不可とする。
      - イ 発表時間は、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とする。
      - ウ デジタル静止画像（5画像以内）を併用することができる。BGMは使用できない。
      - エ 画像はパソコンからビデオプロジェクター1台で投影するものとし、操作は発表校が行う。
    - (b) 朗読部門
      - ア 郷土（自都県内に限る）にゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿とする。
      - イ 発表時間は、学校名、氏名、作者名、作品名を含めて2分以内とする。
      - ウ 効果音やBGMを併用することができる。再生は発表校が行う。デジタル静止画像は使用できない。

- (c) オーディオピクチャー（AP）部門
  - ア 郷土（自都県内に限る）に関する話題を取り上げた自校オリジナル作品とする。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない。
  - イ ステレオ音声を主とし、J P E G形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。スライドと音声を合わせたビデオ映像化した作品とする。
  - ウ 発表時間は5分以内とする。
  - エ デジタル静止画像の投影と音声の再生は、発表校が行う。画像は、パソコンからビデオプロジェクター1台で投影するものとする。
- (d) ビデオメッセージ（VM）部門
  - ア 郷土（自都県内に限る）に関する話題を取り上げた自校オリジナルのビデオ作品とする。
  - イ 発表時間は5分以内とする。
  - ウ 作品の再生は、運営役員が行う。

## (2) 規 格

### (a) アナウンス部門

- ア デジタル静止画像は、J P E G形式で5画像以内とする。
- イ 静止画像のサイズは、X G A（1024×768ピクセル）とする。
- ウ デジタル静止画像のデータはCD-Rにより提出する。

### (b) 朗読部門

- ア 効果音やBGMは、1作品分を再生順に録音する。
- イ 録音したデータは、CD-R（音楽CDと同じ形式）により提出する。
- ウ 音声の再生と音量調節は、原則として発表校で行う。

### (c) オーディオピクチャー（AP）部門

- ア CD-Rによるステレオ音声（音楽CDと同じ形式）とJ P E G形式のデジタル静止画像（25画像以内、総容量は100MB以内）を併用する作品とする。
- イ 音声は、CD-R（音楽CDと同じ形式）に1作品分を1トラックとして録音する。
- ウ デジタル静止画像は、J P E G形式で25画像以内とする。（暗転のために黒一面の画像を使用する場合には、黒画像は枚数には含めない）
- エ 静止画像のサイズは、X G A（1024×768ピクセル）とする。
- オ 音声データおよびデジタル静止画像のデータは、それぞれ別のCD-Rにより提出する。

### (d) ビデオメッセージ（VM）部門

- ア 作品はDVD-V I D E O形式（NTSC規格、アスペクト比16：9）に録画したものとする。市販のDVDプレーヤーで再生できることを確認する。
- イ 作品本編の前後に5秒間の静止画によるテストパターン（形式は自由）を録画すること。

## 13 参加申込

ホームページに掲載してある参加申込書（エクセル形式）に必要事項を記入のうえ、各都県の事務局より、平成29年12月8日（金）までに下記のアドレスに、添付ファイルで送付してください。

なお、ファイル名は「関東放送神奈川申込書〇〇県」とします。

※ 遅くとも申込締切日から4日後までには、「参加申込書」を受領した旨のメールをお送りします。そのメールが届かない場合には、ご連絡ください。

## 14 概要集原稿の提出

概要集の原稿を原稿様式に従って「Word(.doc)」で作成し、各都県の事務局より、平成29年12月11日（月）までに下記のアドレスに、添付ファイルで送付してください。なお、ファイル名は「関東放送概要〇〇県□□高校△△部門」とします。

※「原稿様式 <様式 a～ d>」はホームページに掲載されています。

## 15 作品提出

ビデオメッセージの作品(DVD-R)、オーディオピクチャーの音声(音楽CDと同じ形式)・映像データ(CD-R)、アナウンスの映像(CD-R)、朗読のBGM(CD-R)は、参加校が、平成30年1月9日(火)までに下記の住所(元石川高校海部宛)に送付してください。

## 16 審査員

開催県の高等学校文化連盟放送専門部会が指名する専門審査員と、各都府県で放送活動を指導している顧問で審査する予定です。

※ 貴都県の事務局から、下の表で割り当てられた各部門1名の顧問審査員を推薦してください。

なお、できるだけ参加していない部門への推薦をお願いします。派遣費等の手当はできませんが、ご了承ください。

	埼玉	東京	群馬	千葉	神奈川	山梨	栃木	茨城	計
朗読部門		1		1		1		1	4
アナウンス部門	1		1		1		1		4
AP部門		1		1		1		1	4
VM部門	1		1		1		1		4

## 17 表彰

- ・最優秀賞：各部門1名(作品)
- ・優秀賞：アナウンス・朗読部門各2名、VM・AP部門各1作品
- ・優良賞：アナウンス・朗読部門各4名、VM・AP部門各2作品

## 18 負担金

エントリー数にかかわらず、一都県20,000円とし、コンクール当日、各都県代表者会議の席で徴収します。

## 19 著作権処理：

著作物に関する著作権処理は、参加校の責任において確実に行ってください。

## 20 その他

- (1) 神奈川大会ホームページは「**集まれ放送委員会**」で検索。
- (2) 「参加申し込み」「概要集原稿」「作品」の提出先は、すべて同じです。
- (3) コンクール当日、午前中に各都県代表者会議を予定しております。
- (4) 前年度各部門で最優秀賞に輝いた学校は、カップを返還してください。  
返還は、平成30年1月5日(金)までに宅配便元払いをお願いします。

(優勝カップ返還先)

〒211-0031 神奈川県川崎市中原区木月大町6-1  
法政大学第二高等学校 放送部顧問 榊原肇 宛

## ☆参加申込・概要集原稿の提出・作品の提出

(放送関東大会事務局)

神奈川県立元石川高等学校  
海部弘  
〒225-0004  
神奈川県横浜市青葉区元石川町4116  
kaifu-j8v@pen-kanagawa.ed.jp